

宇和島市災害記録誌制作に寄せて

後世に伝えたい・残したい

「あのときの声、あのときの想い」
募集します

平成 30 年 7 月の豪雨災害から 2 年が経過し、被災された方々も少しずつ元の生活を取り戻しつつあります。

しかし、あのかつてない大きな災害の経験は私たちの忘れられない記憶として刻み付けられました。

その記憶を後世へと伝え残し、未来に役立てられるように、宇和島市は「宇和島市災害記録誌」の作成に取り組んでいます。そして、巻末の特設ページで被災された方々の「声」を掲載します。

忘れないでほしい、覚えていてほしい、誰かに聞いてほしい、あのときの記憶を後世に届けられるように…。

みなさまの伝えたい「声」を 140 字に込めてお寄せください。

【募集内容】

平成 30 年 7 月豪雨を経験して感じたさまざまな想いや、後世に伝えたいことなどを 140 字以内で自由にご記入ください。

【応募資格】

本人もしくは身近な人が被災された方や、平成 30 年 7 月豪雨をきっかけに宇和島市と関わっていただいた方など
※市内外は問いません。

【募集期間】

令和 2 年 11 月 1 日（日）～ 令和 3 年 2 月 28 日（日）

【公開について】

応募いただいた「声」の中から 300 点（予定）を選出し、巻末の特設ページに掲載します。掲載される特設ページは宇和島市 HP において 1 年間公開する予定です。また、パネルやポスターなどによる掲示やイベントなどにおいて使用させていただく場合もあります。

◇◇◇次の 2 通りの方法で募集します◇◇◇

① アンケート用紙に記入

市役所、各支所に備え付けのアンケート用紙にご記入の上、備え付けの回収ボックスに入れてください。

② Webアンケートで回答

スマートフォンでこちらの二次元コードを読み取りください→



【注意事項】

公序良俗に反する内容、個人もしくは特定の団体等を特定して誹謗中傷する内容、いたずら目的での書き込みはご遠慮ください。

個人が特定される情報や内容は掲載しません。

掲載する際に一部要約等を行う場合があります。

お一人あたり 1 回限りの投稿とさせていただきます。